

独立行政法人日本貿易保険 決算報告書

(2005年4月1日～2006年3月31日)

(単位:百万円)

区分	予算額(A)	決算額(B)	差額(B - A)	備考
収入				
業務収入	10,603	10,779	176	
正味収入保険料	9,775	9,586	189	(注1)
正味回収金	132	13	119	(注2)
受取利息	696	1,179	483	(注3)
その他業務収入	0	0	0	
被出資財産からの回収金	16,792	65,968	49,176	(注4)
有価証券の償還	0	0	0	
短期借入金	0	0	0	
前年度繰越金	48,086	48,086	0	
計	75,481	124,833	49,352	
支出				
業務支出	29,944	29,246	698	
正味支払保険金	987	74	913	(注5)
人件費	1,416	1,399	17	
国庫納付金	25,000	24,585	415	
その他業務支出	2,541	3,189	648	(注6)
投資支出	4,530	3,066	1,464	
システム開発費	4,500	2,985	1,515	(注7)
その他投資支出	30	81	51	
有価証券の取得	15,000	38,822	23,822	(注8)
短期借入金返済	0	0	0	
その他の支出	350	297	53	
翌年度繰越金	25,657	42,795	17,138	
予算差異	-	10,608	-	
計	75,481	124,833	49,352	

(注)金額は、百万円未満の端数を四捨五入して表示しております。

【予算額との差額の主な要因は、以下の通りです。】

- (注1) 出再保険の率を5%下げたこと等により、予算額を上回りました。
- (注2) 正味支払保険金が少なかったこと等により、正味回収金は予算額を下回りました。
- (注3) 有価証券取得が増加したこと等により、受取利息は予算額を上回りました。
- (注4) 債務国からの回収が順調であったこと及びロシア等の期限前返済により、回収金は予算額を上回りました。
- (注5) 事業環境が良好であったことから、正味支払保険金は予算額を下回りました。
- (注6) システム開発関連経費等の支出により、その他業務支出は予算額を上回りました。
- (注7) システム開発のスケジュールを変更したため、システム開発費は予算額を下回りました。
- (注8) 被出資財産からの回収金が大幅に増加したこと等により、有価証券の取得は予算額を上回りました。